

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第1760号	氏名	蒔本 憲明
論文審査担当者		主査教授	丹羽 正美
		副査教授	相川 忠臣
		副査教授	永安 武
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、消化管運動改善薬モサプリドの作用機序を解明し、消化管運動におけるセロトニン調節機構を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 生体（麻酔イヌ）を用いたマイクロダイアリス法など確立された薬理的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、セロトニン 5-HT₄ 受容体を介したアセチルコリン遊離機構を明らかにし、今後の消化管薬理学の進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は消化管運動の解明と消化管運動改善薬の開発に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			